

青葉アンビシャス広場 カヌークラブ活動報告

活動日：2013年8月11日（日） 13：00～16：30

活動場所：西南学院大学 アイランドシティ練習場

活動内容：東区カヌー教室・指導者講習会

目的：カヌーの基礎技術の向上、緊急時の対処方法の取得

主催：福岡市東区企画振興課、東区フェスティバル実行委員会、福岡市カヌー協会

参加者：佐谷英和、佐谷麻紀、木村貴、木村芝音、木村潤、今村嘉孝、河本陽奈太、河本実(記)

2013年度、東区主催のカヌー教室に青葉カヌークラブとして8名参加している。今回、子どもたち4名はカヌーの基礎技術の向上を目的とし講習を受けている。基礎部分は救命具のつけ方、パドルの持ち方、カヌーへの乗り降りの説明も受けていた。日ごろの練習である程度分かっていることもあるようだが、あらためて教えられると新たな発見もあったようだ。今後の練習にぜひ生かしてほしいと思う。

指導者講習は、大人4名で参加し、2つテーマで講習を受けている。

1つめは、事前にできる安全確保は確実にを行うこと。

具体的には、

- ・カヌーの前後にビーチボールを入れ転覆時、浸水をなるべく抑えること。
- ・カヌーの後ろに6m程度のロープをつけ転覆したカヌーを曳航できるようにする。
- ・熱中症対策とし、カヌーにお茶などの水分を積み込むこと。
- ・練習はまとまって行うこと。
- ・ライフジャケットは浮力が確保できるものを必ずつけること。(要点検)

これらのことは安全にかかわる重大事項であるためすぐにでも対応すべき事項と思う。なるべく早く費用を確保し対処したい。

2つめはカヌーが転覆した際の対応方法について説明と実技講習を受けた。

実際の手順は、

- ① なるべく早く逆向きのカヌーを起こす。
- ② パドルをカヌーに入れる。
- ③ カヌーの前か後ろを持ち救助を待つ。
- ④ 救助のカヌーの船首と自分のカヌーの座席を持ち、自力でカヌーに乗り込む。

救助のカヌーが来ない場合は自力でカヌーに乗り込み、かえってくる。

実際に私が体験したが、①②③は問題なくできたが、④は洋服が水分を吸うため体がとても重く、残念ながら自力でカヌーに上がることができなかった。

この訓練は、夏場しかできないが青葉カヌークラブでも子どもたちにしっかり教え、身を守るために①～③は必ずできるように指導していく。

他校区の状況だが未経験者も含め参加者がかなり多くとても好評だった。来年は青葉校区も未経験者を含めアナウンスをしっかり行い参加者確保につとめたい。青葉校区の子どもたちもカヌー教室に参加すればきっとカヌーの楽しさ、面白さを感じるだろう。その後、青葉カヌークラブを説明し会員を増やし、部を盛り立てていきたい。

最後にカヌーはマリンスポーツの中では比較的、安全なスポーツと思うが、もしもの時のためや、他人にケガをさせた時のために障害保険が必要と感じた。スポーツ安全保険の検討を行う。また今回の講習会は自分にとってもとても勉強になり有意義だった。

